
ニート・おぶ・The • (^ ^)

たね

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

一ート・おぶ・The・（ ^ ^ ）

【ZPDF】

Z4995A

【作者名】

たね

【あらすじ】

一ートになりかけた俺は、社会復帰をするべく、まずはバイトを探した。それが、歴史にも残る大事件の始まりだった・・・（ - A

、

うーん・・・
タバコの”すすけた”匂いがする

眼が痛い
眼を擦る

だんだんと意識がハツキリとしてきた
「あ、コンタクトしたまま寝たのか・・・」

背中が痛い

起きあがつてみると、そこはベッドではなく床だった
「そりやそうだ・・・」
・・・最近独り言がおおくなつたな・・・・・

俺の名前は薄野 護

歳は22

性別

スペックは、そこそこイケメン、そこそこ頭がいい、超絶不器用で運動神経ばぶつちぶちにきれまくり、人見知り、消極的、キリギリスもびつくりなくらいに急け者な上に童貞、三流私大の一一年生（一浪二留）・・・
そして・・・

ニーット！ ！

第一話 僕、ちょーカワイスス（・・・）

部屋が暗い。

瞼が開いていないのかと思ったが、どうもそりじゃないらしい。
夕方・・・というか夜だ。

「くそ・・・マジで昼夜逆転してるな」

”のつそのそ”と起きあがり、HNC（ハイ・ナビゲーションコンピューター。通称ナビ。パソコンみたいなもの）をつける。
ナビがたちあがり、すぐさまウェザード（ネットみたいなもの）を繋ぎ、タバコに火をつける。

日課とよんでもいい行為だ。

「学校が始まったからだな。ウエザも平和になつてきたなw」

学校・・・小学校、中学、高校そして大学。

「・・・俺、俺も・・・ほんとは・・・」

暖かくなり、バルサンをたかないといけない季節、俺はただでさえ長い大学の春休みの延長戦に突入していた。
休学届けを出していたのだ。

「留学するの？いいな」

「別の大学うけるんでしょ」

「ああ、専門の道にいくんだ」

「違うんだ・・・海外にいくぞ」
「外にもでなくなるんだ

よ・・・」

春、そう、俺はヒキコモリになつた。

大学がつまらなかつた。

想像していた大学生活や漫画の大学生活とは似ても似つかない現実

世界の大学生活・・・つまらなかつた。

別にわがままなわけではない・・・と思つ。たんに、死ぬほどメン
ドクサガリなのだ。

いちお、理由（言い訳）がある。
自分で言つのもなんだが、俺は頭を使うことに関しては平均を凌駕
する結果を出せる。

それは、小さいときから意識にはあつたが、如実に結果に出たのは
高校入試だった。

三年の夏、勉強嫌いで下から数えたほつが速かつた俺を、母親は塾
に入れた。

結果は県内トップ校。

授業を聞くようになつただけで、別に何をしたわけではなかつたが。
そして、そのとき母親は昔のことを語つた。

三歳のときに、喋らない俺を、普通ではないのではないか（平たく
言えば知的障害者）と心配した両親が病院に連れて行つた。
そこで脳に関して調べてもらつたらしい。

結果は医者が驚きながら

「お子さんは、それどころか、かなり優秀ですよ」
と言つたらしい。

「本当だつたんだね」

と語る母親をよそに、俺は気付いてしまつた、といつより確信した。
俺つて頭いいな。

それからは、散々だつた。

一年ありや大丈夫だと二年になるまで遊びほつける。

いざ、勉強しようとしたときには、時すでに遅く、習慣が身につい
てなくて、今（イチロー2留三流私大）に至る。「つづうつ・・・・
涙が出てきた。

どこで踏み外したんだろう?

「・・・いや、明らかだな」

・・・また独り言か。

治さないといけないな。

「あ、タバコ少ねーな。・・・散歩がてりに買つてくるか」
俺は外着に着替えて（悲しいかな、中途半端に顔がいいとちょっと
した散歩ですら格好を気にしてしまつ）お気に入りで口課の夜の散
歩をすることにした。

「ああ、いい空だ。夜の散歩はいいね～」

タバコを吸わないと息が白くならない温度だ。
心地よい。

「温度いいから、今日は遠出しここもと違つてここで買つかな」

このとき、重大な失敗を犯したこと俺は気付きよつがなかつた。
「ん？なんだ？少女がき？なんでこんな時間に？なんやつてんだ？怪し
いし放置か？ビーセブスだらつ」

第一話 僕、ちょーカワイソス（・・・・）（後書き）

主人公をたたせるために長い自分語りになってしましました。かな
りクドクドしてて文才のなさを痛感しますorz

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4995a/>

ニート・おぶ・The・(^ ^)

2010年10月28日07時17分発行